

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者：安部 叁 巳

発行所：私立短期大学図書館協議会
〒228 相模原市文京2-1-1

相模女子大学短期大学部図書館内

電話：0427-42-1411

1993. 9 No. 33

再び会長に選出されて

安部 叁 巳

去る5月28日に開われました平成五年度総会の席上で皆様方のご推挙を受けて再び会長に選出され、これからの一期2年間、その重責を担うことになりました。

短期大学は現在、18才人口の減少や経済不況などが大学運営の様々な側面に影響を与え、また図書館自体も山積した課題に正に直面している時であります。そんな大変な時期に衝に当たることになったわけですが、幸いにして地区理事や在京役員の方々が非常にご熱心であります。加盟館各位のご支援のご協力を得まして、精一杯努力して参りたいと思いますので、何分よろしくお願い申し上げます。

今年度の活動は、先日の総会でご承認いただきましたように、次の内容を考えています。

全国規模の活動は①毎年東京で開催いたします全国研修会、②会報や研究紀要などの編集・刊行事業、③地区活動の助成・援助活動、④前の期から新しく取り組んで大変好評を博しています地区訪問（在京本部から複数の役員を地区の総会・研修会などに派遣して直接地区との交流を行い地区活動の活性化に役立てていただく）などです。

全国研修会は、企画運営に当たる担当役員の方々の、奉仕と犠牲があまりにも多過ぎるという声もありますがその実践の内容や手作り感覚の構成が、参加者に非常に好評です。継続の要望も強いので、サブテーマに変化を持たせながら今年も実施することにいたします。

出版事業は、特に重視している活動です。短期大学図書館関係者に、研究活動や事例発表などの場を提供している「短期大学図書館研究」はカバーデザインを一新しさらに内容の充実を期待しています。また年に2回刊の「会報」は、内容に新機軸を加え、情報交流の場としての有用性第一に編集に努めたいと考えています。



私立短大協の組織は、全国規模の諸活動と地区協議会を中心とした活動とが、丁度車の両輪のように働いて進展するものと考えています。地区協議会に対しては、従来の活動助成の内容を更に充実したものになるよう実施実現する予定です。

もともと本協議会は、同じ短大という共通基盤の下に地域単位あるいは研究グループ単位の日常的活動を、積極的に推進することによって短大図書館の向上に役立つことを目的として結成された組織体です。JAL短大図書館分科会とも密接な連携のもとに、広く短大図書館界全般の諸活動振興にも、積極的にかかわって機能したいと考えています。

昨今、特に短期大学の先行きに不透明さが見え隠れしているやに思われますが、設置基準に図書館のあり方が強調され、また大学自体の自己点検・自己批判が求められている時でもあります。図書館は大学と共にあって、大学教育の充実のために、名実ともに不可欠な存在であることを早急に示す必要が生じてきたのです。

図書館の発展向上が、大学教育の充実に直接的に関与する実績を短大協は組織の活動をとおして示し、図書館が大学の使命達成と合目的な関係にあることを更に明らかにするとともに、そうした図書館の働きにさらに理解の輪を拡げる必要があるのではないかと考えます。

組織運営の責任の重大さを改めて痛感していますが、皆様方のご支援ご指導を切にお願い致しまして、再任のご挨拶とします。

(あべ としみ・聖徳大学)

平成5年度総会開催

— 会長に安部竺巳氏を再選 —

会費値上げ問題で意見交換

日時 平成5年5月28日(木) 13:00~14:30
会場 日本電気(NEC)三田クラブ(東京・港区)
出席 40館 委任状 243館 計 283館

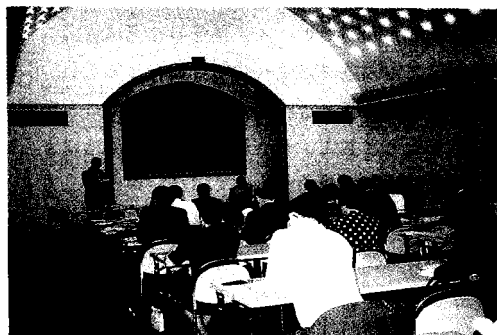
菅原春雄氏(文教大学女子短大部・理事)の司会により開会。まず安部竺巳会長(聖徳大学短大部)が挨拶で次のように述べた。「18才人口の減少が現実のものとなった現在、短期大学にはいろいろな課題が山積している。一昨年の短大設置基準の大綱化によって図書館のあり方も単に設備を整え資料を増やすことに重点を置いた時代から、真に機能する図書館が求められることとなった。短大図書館の状況は決して好転しているとは云いがたいが、弱小であるからこそ組織してレベルアップをはからなければならないだろう。そのことを原点に全体として少しずつでも進んでいきたい。どうか私立短期大学図書館協議会の運動が個々の図書館のためになるよう努力をするので皆様のいっそうのご協力をお願いしたい。」引き続き、議事に入った。

議長 布川 嘉佑氏(羽衣学園短期大学)
記録 川井依玖子氏(東京文化短期大学)
中村 洋子氏(東京立正女子短期大学)

議事1. 平成4年度活動報告(吉岡理事)

①会勢(平成5年5月1日現在)

北海道地区	19館
東北地区	15館
関東甲信越地区	101館 (+2)
東海北陸地区	44館 (+1)
近畿地区	74館 (+2)
中・四国地区	31館 (+2)



九州(含沖縄)地区 34館 (+1)
計 318館 (+8)

注:()内は平成4年度増加館数

②活動報告(地区活動については会報で報告)

- 1) 全国理事会(平成4年5月27日)
- 2) 平成4年度総大会開催(平成4年5月28日)
大会終了後講演会、見学会実施
- 3) 平成4年度短期大学図書館全国研修会の開催
10月22~23日、古流かたばみ会館、詳細は会報32号および「短期大学図書館研究 第13号」(1993)参照
- 4) 会報31・32号の発行と加盟館への配布
- 5) 「短期大学図書館研究」第12号の刊行と加盟館への配布
- 6) 7地区協議会への活動助成
- 7) 全国理事会及び本部役員会の開催・運営
- 8) 短期大学図書館関係団体懇談会出席
以上、承認

議題2. 平成4年度決算報告及び監査報告

- 1) 平成4年度決算報告(毛利理事)
別掲の会計決算資料により報告・承認
- 2) 平成4年度監査報告(関監査)

書類照合審査の結果適正処理を確認との報告承認及び監査としての所見以下のとおり。

現在、各地区への助成金が少なく(1校3,000円)普通の活動もままならない。また本部も実際には予算が減少しているため、総覧積立を取り崩している状況となっている。地区活動を活発なものとし、総覧刊行の危惧をなくすためにも、この辺で会費の見直しが必要である。

議題3. 役員選出

- 1) 会長選出: 安部竺巳氏(全国理事会推薦)を再選承認
- 2) 監査選出: 岡野盛繁氏退任に伴い新監査として、古賀実生氏(千葉経済大学短期大学部図書館)を選出承認
- 3) 会長推薦理事承認: 在任者を継続承認。任期

満了に伴う川井依玖子氏の退任による後任選出は会長一任。

議題4. 平成5年度活動方針案審議〈毛利理事〉

議題5. 平成5年度予算案審議〈毛利理事〉

- 1) 平成5年度総会・講演・見学会開催
- 2) 全国研修会 11月18、19日を予定
テーマ「参考業務と書誌」
- 3) 会報33・34号の発行
- 4) 「短期大学図書館研究」第13号の刊行および第14号の編集準備
- 5) 地区活動助成
- 6) 全国理事会および本部役員会の開催・運営
- 7) 本部役員の地区行事への参加
- 8) 「私立短期大学図書館総覧 1979」の改訂準備
* 賛助会費収入（広告収入）が見込めない。
* 出版物売上収入も売上が期待できない。
* 総覧刊行引当金のうち10万円を取り崩している。
これらの事業と事業ともなう予算案承認（予算案は別掲参照）

議題6. その他

1) 会費の値上げについて（事務局説明）

今年度は総会承認どおりの予算で運営するが苦しい状況であり、各地区から活動を活発にするには不足との意見もあった。そこで平成6年度から会費を15,000円に値上げしたいと考えている。予算化に際してご留意いただきたい。この件については、夏頃あらためて文書でお願いする。値上げ予定分5,000円の根拠は2,000円を各地区へ3,000円を本部運営、総覧刊行に当てたい。

質問：総覧経費2,000,000円で有料販売として、長期的観点から値上げの小出しはしないで欲しい。

回答：次は平成10年としても5年後位になるが、20,000円の家もあったが、小さな館もあるので大幅な額はどうかという考えである。

質問：値上げについてはもう少しいろいろな意見を聞いて審議する必要があるのではないか。例えば館員数も考慮してみるということもある。

回答：ご意見を参考にして、役員会で検討したい。

2) 全国研修会の案内〈中村理事〉

日時：平成5年11月18日（木）19日（金）

場所：全水道会館（東京・水道橋）

テーマ：美術、経済、法律についての参考業務と書誌

一見学会記録一

総会終了後約1時間、日本電気（NEC）本社ビルを見学した。

このビルの特徴は「C&Cインテリジェントビルシステムによってひとりひとりの、あるいはグループの豊かな発想や創造力を引き出すオフィスワークや多様で豊かなコミュニケーションを支援するとともに、能率的な作業を生み出す快適オフィス環境を実現しており、NECが提案する次代のオフィスのありかたが具体化されている」とのことである。

平成4年度一般会計決算

（収入の部）

勘定科目	予算	決算	差額
会費収入	3,090,000	3,160,000	70,000
研修会参加費	1,080,000	1,530,000	450,000
賛助会費	510,000	579,588	69,588
出版物収入	243,000	254,277	11,277
雑収入	4,996	135,202	130,206
前年度繰越	1,370,004	1,370,004	0
合計	6,298,000	7,029,071	731,071

（支出の部）

勘定科目	予算	決算	差額	
事業費	年次総大会	100,000	94,345	5,655
	全国研修会	1,080,000	1,283,847	-203,847
	会報	300,000	381,924	-81,924
	会紀	1,051,000	1,050,800	
地区	交付金	927,000	948,000	-21,000
	助成金	700,000	700,000	0
	I F L A 会費	40,000	40,000	0
会議	本部役員会	180,000	174,926	5,074
	全国理事会	190,000	190,788	-788
運営費	交通費	210,000	120,000	90,000
	消耗品費	80,000	73,904	6,096
	通信費	120,000	159,059	-39,059
	事務局費	120,000	105,000	15,000
	地区参加費	100,000	100,000	0
	雑	100,000	44,061	55,939
総覧刊行引当金	1,000,000	1,200,000	-200,000	
小計	6,298,000	6,666,654	-368,654	
次年度繰越金		362,417		
合計	6,298,000	7,029,071	-731,071	

平成5年度一般会計予算

(収入の部)

勘定科目	予算	備考
会費収入	3,190,000	単価10,000×319館
研修会参加費	1,080,000	参加費10,000×80人 懇親会7,000×40人
賛助会費収入	510,000	広告収入等
出版物売上収入	100,000	紀要等
雑収入	7,583	利息等
繰越引当金	1,200,000	
前年度繰越	362,417	
合計	6,450,000	

(支出の部)

勘定科目	予算	備考	
事業費	年次総大会	100,000	
	全国研修会	1,080,000	
	会報	350,000	
	紀要	1,000,000	
地区交付金	地区交付金	957,000	単価3,000円×319館 単価60,000円×7地区 +出版助成280,000(特別助成金)
	地区助成金	700,000	
I F L A 会費	40,000		
会議費	本部役員会	180,000	
	全国理事会	190,000	
運営費	交通費	210,000	単価15,000円×14人
	消耗品費	80,000	
	通信費	160,000	
	事務局費	120,000	
	地区参加費	100,000	
	雑費	83,000	
総覧刊行引当金	1,100,000		
合計	6,450,000		

地区活動報告 —第32号以後—

〈北海道地区〉

1. 1993年度役員会

日時：1993年5月13日(木) 12:00~13:30

場所：北海道女子短期大学

出席者：6館8名

議題：総会の運営について

2. 1993年度総会

日時：1993年5月13日(木) 14:00~16:00

場所：北海道女子短期大学

出席者：10館15名

議事：(1)1992年度活動報告(承認)

(2)1992年度決算報告、監査報告(承認)

(3)1993年度活動方針(承認)

(4)1993年度予算案(一部修正)

(5)役員改選(1993年度・1994年度)

顧問 坂本龍三(北海道武蔵女子短期大学教授)

会長館 北海道女子短期大学

幹事館 北海道武蔵女子短期大学

" 北星学園女子短期大学

幹事館 北海道自動車短期大学

監査館 小樽女子短期大学

静修女子大学静修短期大学

事務局 北海道女子短期大学図書館

江別市文京台23

Tel 011-386-8011

FAX 011-387-1542

(6)平成5年度第79回全国図書館大会の運営について

実行委員 柴田浩一(北海道女子短期大学図書館長)

運営委員 八力広喜(北海道武蔵女子短期大学図書館長)

3. 1993年度研修会(予定)

平成5年度第79回全国図書館大会が9月29日(水)~10月1日(金)まで、札幌市で開催されるので、第4分科会(短大・高専図書館)への参加をもって本年度の研修会に充当する。

日時 9月30日(木) 9:30~16:00

テーマ 視聴覚資料と著作権—短大・高専図書

館の明日を考える一

構成 講演2題、事例発表3館が予定されている。

〈東北地区〉

- ・加盟館(15館)の館員名簿調査
- ・5年度事業計画・予算案を加盟館に送付、承認を得る。
- ・5月27日(木)全国理事会・5月28日(金)総会、見学会に出席

〈平成5年度事業計画〉予定

1. 総会(年1回)
 - 研修会と同時に開催
 2. 研修会(年1回)
 - 全国研修会・地区研修会
 3. 見学会(年1回)
 4. 地区支部会報、報告書の発行(年1回)
 5. 幹事会(随時)
 6. 本会への加盟推進を行なう(文書・会報等の発送)
- ・平成5年度総会・研修会を下記要領にて開催を予定している。

日時:平成5年10月9日(土) 午後1時~5時

会場:桜の聖母短期大学 2階会議室

研修内容

- ・私立短期大学図書館協議会会長 阿部登巳氏講演会
テーマ『短期大学における図書館の役割』
- ・各館の活動報告
 - 図書館の地域開放について
 - 利用者教育について
 - 図書館PRについて
 意見の交換を行なう予定である。

〈関東甲信越地区〉

平成5年

3月23日 第4回幹事会開催(目白学園総合図書館)

- 議題
1. 総会及び見学研修会について
 2. 役員改選について
 3. その他

5月10日 第1回幹事会開催(目白学園総合図書館)

- 議題
1. 総会及び見学研修の確認
 6. 決算、予算について
 3. 研修会下見について

5月15日 合宿研修会下調査(千葉県外房鴨川付近)

6月4日 総会及び見学研修会開催

総会 会場「千葉敬愛短期大学会議室」

- 議題
1. 平成4年度活動報告・決算報告

2. 会長・幹事改選について
3. 平成5年度活動方針・予算案
4. その他

見学会 場所「国立歴史民俗博物館」

(千葉県佐倉市) 13:00~

参加者 総会 30館 35名 見学会 34名

6月4日 第2回幹事会(総会終了後)

- 議題
1. 総会反省会
 2. 合宿研修会について
- 会勢 102

新規加盟館 静岡精華短期大学附属図書館

〈東海・北陸地区〉

1. 平成5年度第1回幹事会

日時:平成5年4月20日(火) 11:00~15:00

場所:愛知女子短期大学

出席者:9館 13名

議題:(1)平成4年度事業報告・決算報告及び監査報告について

(2)役員校担当業務について

(3)平成5年度事業計画案・予算案について

(4)平成5年度総大会、研修会について

(5)平成6年度総大会会場校について

(6)平成8、9年度会長校について

(7)私立短期大学図書館協議会東海・北陸地区協議会会則について

(8)研修・会報委員会

(9)その他

2. 平成5年度交流会について

日時:平成5年5月26日(水) 18:00~20:00

場所:愛知会館(名古屋市東区葵三丁目24-11)

参加者:15館 22名 総大会の前日に行なった。

3. 平成5年度第2回幹事会

日時:平成5年5月27日(木) 9:20~10:00

場所:愛知女子短期大学

出席者:9館 11名

議題:(1)平成5年度総大会議事運営について

(2)平成5年度研修会について

(3)会報25号について

(4)その他

4. 平成5年度総大会

日時:平成5年5月27日(木) 10:00~15:30

場所:愛知女子短期大学

出席者:27館 37名

〈総会〉

会長挨拶:愛知女子短期大学図書館長 荻原啓作氏

議長選出：内規第4条により開催地区幹事
名古屋短期大学図書館長 高橋みな子氏
議事

I. 会勢報告

愛知学院短期大学 加盟により44館

II. 承認事項

- 平成4年度事業報告、決算報告、監査報告
- 平成5年度役員改選（北陸地区）
- 平成5年度事業計画および予算案

III. 報告事項

北陸部会活動報告

IV. 審議事項

- 平成6年度総大会会場校について
- 平成8・9年度の会長校について
- その他

質疑応答のうえ、すべて承認される。

〈講演会〉

「出版流通情報の現状について」と題して、日本出版販売株式会社、図書情報部部长 大野恒夫氏が講演された。

〈見学会〉

総会、講演会終了後、大日本印刷株式会社の工場部門の「東海大日本印刷株式会社」（名古屋市守山区瀬古赤目100番地）を「出版工程とそのエレクトロニクス化」という見地から見学した。見学終了とともに、すべての日程を終了。

〈近畿地区〉

I. 幹事会

- 第5回 1993年1月16日（木） 14：00～14：30
第6回 1993年2月17日（水） 13：00～15：00
第7回 1993年2月25日（月） 14：00～16：00
第8回 1993年4月30日（木） 13：30～16：00

II. 研修会について

下記の様に研修会を実施した。

〈平成4年度第2回研修会〉

1992年10月20日（火） 13：00～15：30
場所：大阪大学生命科学図書館
参加館：32館 44名
テーマ：生命科学図書館見学

〈平成4年度第3回研修会〉

1993年 3月15日（月） 14：00～16：30
場所：凸版印刷株式会社関西凸版メディアセンター
参加館：33館 41名
テーマ：マルチメディアとメディア変換過程見学

〈平成5年度第1回研修会〉

1993年 5月21日（金） 15：00～16：30
場所：羽衣学園短期大学
参加館：33館 42名
テーマ：講演「文献の製本にまつわる諸問題」

講師 雲雀屋製本社長 石井力太郎氏

III. 総会について

日時：1993年 5月21日（金） 15：00～16：30
場所：羽衣学園短期大学

参加館：33館 42人

議事：会長館である、羽衣学園短期大学図書館 両角英郎館長の挨拶につづき、議長に帝塚山短大 蔭山久子氏を選出し議事に入る。

1. 平成4年度会勢・活動報告

加盟館 74館

（地区所在館：96館 加盟率80%）

新規加盟

・東洋食品工業短期大学

・神戸女子短期大学

名称変更

・成安女子短期大学 → 成安造形短期大学

2. 平成4年度会計報告

3. 同監査報告

4. 平成5年度役員

5. 平成5年度事業計画案

（事業計画1）研修会等の開催について

（事業計画2）削除誌の発行について

（事業計画3）相互利用案内発行について

（事業計画4）加盟館名簿の改訂について

6. 平成5年度予算案

以上、質疑応答のうえ、承認された。

7. 会則改正及び会費値上げについて

会則の改正については、質疑応答のうえ、承認を得た。会費値上げについては、各館に案をもちかえると共に幹事会で協議することとなった。

IV. 近畿地区雑誌目録1992年版の発行について

近畿地区私立短期大学雑誌目録1992年版が、平成5年3月に発行された。1991年7月現在の近畿地区にある79館が和雑誌4,611 洋雑誌2,153タイトルの所蔵データを集めて編纂された同日録は、1977年版を継続・拡大し、「学術雑誌総合目録」の誌番号、ISSNを付加している。今後、一層の相互利用の促進が望まれる。

近畿地区私立短期大学雑誌目録1992年版について

近畿地区私立短期大学図書館協議会

前号で、御報告しました通り、近畿地区協議会では、3月に参加館79館、収録件数と雑誌4,611件、洋雑誌2,200件を収録した雑誌総合目録を発行しました。1987年版について、その収録範囲を、できるだけ広くかつ稀少なものまで含むものとしたので、その利用にも大いに役立つことと考えられます。

同目録を、購入ご希望の向きは、1) 貴館名 2) 送付先住所 3) 必要部数 を明記のうえ、下記の要領で発頂くよう御案内申し上げます。

記

「近畿地区私立短期大学雑誌目録1992年版」

1部 9,200円

書籍小包 1部-450円 2部-590円

注文先: 〒592 大阪府堺市浜寺南町1-89-1

羽衣学園短期大学内

私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会

TEL 0722-65-7000 FAX 0722-65-7008

(ファックスによる注文も承っております)

なお、必要書類等については、注文の際ご指示願います。

〈中国・四国地区〉

- 1 昨年12月、愛媛県の東雲女子短期大学、続いて今年4月、広島県の安田女子短期大学の各図書館が加盟館となり、私立短期大学図書館中国・四国地区協議会加盟館は29館から31館となった。
- 2 本会報No.32(1993.3)の地区活動報告の中でもふれたが、第7回(平成4年度)私立短期大学図書館中国・四国地区協議会総会・研修会の成果をまとめた「あすの短大図書館をめざすもの—現状と展望」の印刷を完了し、3月末、各図書館に発送した。この小冊子のタイトルのとおり、さまざまな課題(現状)をかかえている私立短期大学図書館が、これからの図書館の在り方をめざしていくうえで、少しでもお役に立つことを願っている。なお、この小冊子の刊行にあたっては、私立短期大学図書館協議会(本部)から多大のご援助をいただいたことを付記しておく。
- 3 本年3月15日付でお願いした「アンケート」は加盟館のご協力により、5月13日の最終回答で、全館(31館)から回答をいただいた。アンケートの内容は本協議会の開催地や開催期日、開催日程、開催内容など、総会・研修会の持ち方に関するものや、私立短大図書館が今、直面している課題に関するものなどであった。会の持ち方については、さまざまな回答をいただいた

が、開催時期は圧倒的に7月が多く、開催日程も半日ではなく、1日開催を望む声が多く、全加盟館の4分の1は2日間開催を希望している。会内容については、テーマに基づいて、講師の講演とその実務研修がよいという回答が一番多く、次いで、従来の方式である総会・研修会による会の持ち方であった。また、この会に望むことは、全国の短大図書館の動きや各館の情報資料をながしてほしいという回答が多く、次いで、自館の今おきている問題点をいち早く解決するようなネットワークを望みたい。できるかぎり情報を知らせてほしいという声が多かった。これらのことから加盟館が、本協議会に寄せる熱意と期待を知ることができた。また、今、加盟館が悩んでいることについては、図書館職員の不足によるサービス低下についての問題、予算の不足の問題、コンピュータ導入の問題、図書館の汚損や紛失等、多岐にわたるものであった。加盟館の相互交流の中で、情報交換などの協力を通じ、一歩ずつでも、あすの短大図書館をめざして解決に近付いていきたい。

- 4 第8回私立短期大学図書館中国・四国地区協議会総会・研修会は、7月30日(金)、幹事館の松山短期大学図書館で開催される。総会行事のあと、研修会が行われ、松山大学教授 亀田弘氏により、「図書館における利用指導の問題」についての講演がある。このあと承合事項・協議事項等について、研究協議が行われ、図書館の利用指導について、図書館の自己点検・評価について、蔵書増加に伴う収容スペース狭隘化対策についてなど、情報交換が行われることになっている。
- 5 上記総会・研修会においては、私立短期大学図書館協議会全国理事会・総会(5月27日・28日開催)協議内容についても報告することになっている。
- 6 9月には、私短図中・四国協ニュース5号の発行を予定しており、上記4・5の内容等を含めて情報連絡を計画している。特に、総会・研修会に参加できなかった加盟図書館のために。

〈九州地区〉

1. 機関誌「ニューズレター」15号(平成5年3月)発行。特集:地域サービスと外部データベース利用についてアンケート調査結果報告(実施期間:平成4年11月、対象館:九州地区加盟館33館)。調査項目
 - ①図書館の地域開放について
 - ②図書館によるその他の地域サービスについて
 - ③短期大学の方針に基づく地域サービスについて
 - ④外部データベースの利用について

2. 平成5年度総会および研修会

期日：平成5年4月22日（木）
 会場：くまもと五峯閣（熊本市）
 出席者：参加館 29館 48名（欠席 5館）
 オブザーバー 1館 1名
 当番館：中九州短期大学

総会

《会長館報告》 事業としては、特に積極的事业は行わなかったが、地域サービスなどに関するアンケート調査を実施したほか、ニューズレター14号と15号を発行、名簿訂正表を作成した。

《平成4年度決算および監査報告》 了承された。

《平成5年度事業計画案・予算案審議》 事業案については、予算項目変更の趣旨に沿って活発な事業を行うため、研修・調査経費や会議費の有効な使い方についての具体的な提案を求めたが、特に意見がなかったため、後日会長館と連絡・協議を行いながら進めることが承認された。

《アンケート集計結果報告》 ニューズレター15号をもとに説明。

《承合事項》 教職員の図書館利用規定について
 提出理由説明とアンケート集計結果報告／西日本短期大学 理由：教職員の図書館利用規定・規則がないので、作成するために他館の規定・規則を教えてください。アンケート項目：①図書館の規定・規則や内規に教職員に関する条項がありますか？ ②規定・規則の名称は何ですか？ ③教職員貸出に、種類はありますか？ ④教職員の貸出冊（点）数や貸出期間は具体的にどうなっていますか？

研修会 《事例発表》

1. 自館制作ビデオ「図書館利用案内」について（ビデオ使用） 東筑紫短期大学図書館 桑原由希恵
2. 本学図書館のコンピュータ化（OHP使用）
 第一保育短期大学図書館 古賀悦子
3. 図書館業務の電算化 =トータルシステム稼働をめざして=（OHP使用）
 純心女子短期大学図書館 山下真美

3. 新規加盟館

麻生短期大学図書館（平成5年4月加盟）

〒818-01 太宰府市大字太宰府740

TEL 092-928-1200 / FAX 092-928-3200

4. 図書館&館員名簿（平成5年5月調査）6月末発行予定
5. 「ニューズレター」16号（特集：平成5年度総会および研修会について）7月発行予定。

電子メールシステムを利用しませんか

筑紫女学園短期大学附属図書館

山本鉄二郎 G78396 (NACSIS-MAIL)

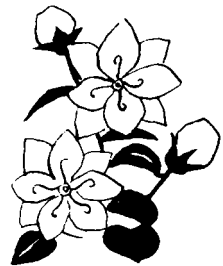
昨年の12月頃から、学術情報センター電子メールシステム（NACSIS-MAIL）を使いはじめました。ようやく半年ほどになりましたが、予想していた以上に便利であること、および予想をはるかに越えた情報入手のための強力なツールであることをお知らせしたいと思います。

使用する以前には考えてもみなかったのですが、電子掲示板・ネットワークニュース・インターネットとのメール交換などのサービスが、NACSIS-MAILでは提供されていて、これらは図書館職員の新しい情報交換メディアではないでしょうか。

6月からは、同じ太宰府市内の福岡女子短期大学図書館と電子メールの交換を開始しました。所蔵の照会や複写貸借の依頼など、日常の連絡業務に使用できるよう練習中です。

平成4年度より短大図書館も学術情報センターの目録/ILLシステム（NACSIS-CAT/ILL）を利用できるようになりましたが、図書館にパソコンが1台しかない当館にとって、NACPC-PCのようなパソコンによる目録/ILLシステム用の製品が販売されているとはいえ、CAT参加にはまだ時間がかかります。

パソコンをモデム（2万円弱）で電話に接続するだけで使えるNACSIS-MAILを利用してみませんか？もちろん学術情報センターへの申請が必要ですが、電子メールの申請と利用は無料です。



新規加盟館紹介

〈静岡精華短期大学附属図書館〉



1992年4月の開学に伴って、附属図書館として開館いたしました。蔵書構成は、本学は国際文化学科と商学科から成るため、人文・社会系中心です。1993年7月現在、2万冊弱が利用に供されていますが、昨今の目まぐるしい世界情勢の変化や、情報科学の発達につれて出される夥しい数の出版物を前に、一冊でも多くの資料を提供できるようにと、館員2名(専任司書)で少ない予算のやり繰りに頭を痛めています。因に、昨年度は図書を1,300冊強、学術雑誌62種、その他消耗図書・雑誌等を受け入れました。

これらの資料の管理は、機械で行なっています。当館で利用しているのは株式会社ブレインテックの『情報館』で、現在のところスタンド・アロンですが、近い将来ネットワークを組んで、利用者用端末機(検索専用)を設置すると共に、事務作業速度を上げようと考えています。

開館以降1年間を振り返ってみると、資料の年齢(?)が若いもの中心、高額な参考図書の購入が容易ではないということが、常に悩みの種となっていました。過去の資料がないことは、歴史の浅い館にとって共通の問題点といえるかもしれません。今後、古い資料に当たってみたい場合に、他館に援助を求めることは必至です。そこでこの場をお借りして、その折にはお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

ランガナタンの『図書館学の五法則』を銘に、一人前の図書館として機能できるようにと一歩を踏み出した当館を、以後宜しく御指導ください。

〈安田女子短期大学図書館〉

並木の舗道を登りつめた地点に、緑の山を背にして立っているクリーム色の建物が、安田女子大学、短期大学図

書館である。昭和60年度の広島市の優秀建築物として表彰されている。

本学図書館は昭和41年の開学と同時に開館した。当初は建物の一郭に設置されていたが、学生の定員増に伴い、昭和59年に現在の独立した図書館に移転した。

建物の天井は吹き抜けになっており、全体に明るく落ち着いた雰囲気を作っている。

1階には視聴覚室、会議室、自習室が配置されている。

階段を上がってブックディテクションを通ると、右手に受付カウンターがある。ここでコンピューターによる貸出、返却等を行っている。学生用の検索機も3台備えている。

この階には参考図書、雑誌が配架されており、その他ブラウジングコーナー、AVブース、研究室、手動式閉架書庫、館長室、事務室が配置されている。

3階には全分野の図書を開架式で運用している。

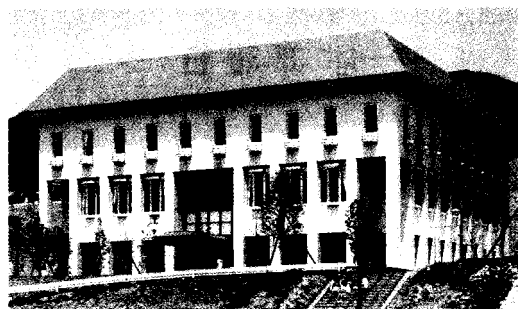
蔵書数は約11万冊。総座席数388席。備えつけの椅子は個人差を考え、高さの違うものが3種類ある。

館員は6名。現在は平成6年に設立される大学院用に購入された図書約5千冊の整理に追われている。

図書の収容にも頭を痛めており、書架を追加している状態。近々書庫も増設する予定である。

コンピューターも、パソコンからオフコンへ切り換えただけであり、多くの課題を抱えている。

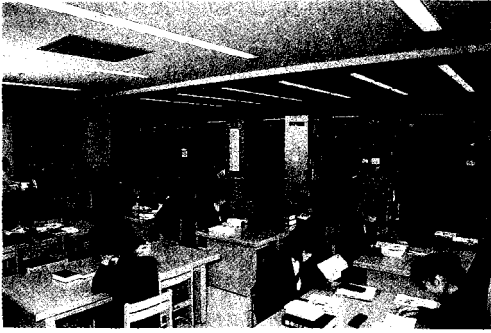
今年から編入制度も取り入れた為、学生数は確実に増えている。本学の拡充に対応し得る内容と機能を持ち、本学学生の在学中の生活の一部として活用されるよう、これらの課題一つ一つに取り組んでいきたい。



〈麻生福岡短期大学図書館〉

今回、新規加盟いたしました麻生福岡短期大学図書館でございます。

学問の神、天神さまとして有名な太宰府天満宮の近くに建つこの場所は、自然と歴史に彩られた環境に恵まれています。



図書館の概要として、面積189平方メートル、収容冊数約13,000冊（うち、洋書約2,300冊）、雑誌67タイトルで、いずれも開架式となっています。担当職員は、館長（兼任）、事務長（兼任）、司書（専任）が配置されています。

本学は平成元年4月の開学、創立して5年目と日がまだ浅い関係で、収納図書も充実にはまだほど遠いものがありますが、年次計画のもとに着々と特色ある図書館を目指して整備に鋭意努力中です。

また、本学は経営情報学科の単科大学であり、特定の分野についてより深く、専門的に履修するため3コースに区分しています。経営情報コース・情報処理コース・情報秘書コースがそれです。

このため、情報化社会の先端を学ぶにふさわしい資料や図書の購入に特に力を注ぎ、順次揃えていきつつあるところです。

さらに、報恩感謝、慈愛と奉仕の建学精神にふさわしい修養書、教科書などにも良書を求めているところです。

— 本部報告 —

〈会 勢〉

北海道	19	近 畿	74
東 北	15	中国・四国	31
関東甲信越	102	九 州	35
東海・北陸	44	計	320 館

〈新規加盟館〉

①安田女子短期大学図書館

〒731-01 広島市安佐南区安東6-13-1
☎ 082-878-8111

②静岡精華短期大学附属図書館

〒425 静岡県焼津市本中根549-1
☎ 054-623-7000

③麻生福岡短期大学図書館

〒818-01 福岡県太宰府市大字太宰府740
☎ 092-928-1200

④和泉短期大学図書館

〒229 相模原市青葉2-2-1
☎ 0427-54-1133

⑤土佐女子短期大学図書館

〒781-51 高知市大津乙2500-2
☎ 0888-66-8800

⑥香蘭女子短期大学図書館

〒876 福岡市南区横手1-2-1
☎ 092-581-1538

〈退会館〉

①東京基督教短期大学図書館（短大廃止のため）

②中国短期大学図書館（学内事情のため）

〈本部役員会〉

平成5年度第1回

日時：4月6日（火） 14:00～18:00

場所：亜細亜大学短大部図書館

議題：

- ①「短期大学図書館研究」第13号について
- ②平成4年度決算について
- ③平成5年度役員人事について
- ④全国理事会及び平成5年度総大会について

平成5年度第2回

日時：4月30日（金） 14:00～18:00

場所：文化女子大学短大部図書館

議題：

- ①「短期大学図書館研究」第13号について
- ②平成4年度決算について
- ③平成5年度予算案について
- ④平成5年度総大会について

平成5年度第3回

日時：7月2日（金） 14:00～17:00

場所：跡見学園短期大学図書館

議題：

- ①「短期大学図書館研究」第13号について
- ②平成5年度全国研修会について
- ③会報第33号について
- ④会費値上げ案について

〈全国理事会〉

日時：5月27日（木） 14:00～17:00

場所：文化女子大学会議室

議題：

- ①本部・各地区活動報告
②平成5年度総大会について

〈本部役員人事〉

5月28日に開催された平成5年度総会において、次の本部役員人事が承認された。

- ①会長の選出：安部登巳氏（聖徳大学短大部）を再選出。
②監査の選出：岡野盛繁氏（東横学園女子短大図書館）の後任に、古賀実生氏（千葉経済大学短大部図書館）を選出。
③会長推薦理事の承認：現本部役員の前任を承認し、川井依玖子氏（東京文化短期大学図書館）の退任に伴う後任理事の選出については、会長一任となった。川井さん、6年間ご苦労さまでした。

〈本部役員名簿〉

- 会長 安部登巳（聖徳大学短期大学部）
☎ 0473-65-1111
- 監査 関 篤（和洋女子短期大学図書館）
☎ 0473-71-1111
- 監査 古賀実生（千葉経済大学短期大学部図書館）
☎ 0423-255-3451
- 理事（庶務・会報） 吉岡磐彦（相模女子大学短期大学部図書館） ☎ 0427-42-1411
- 理事（会計） 毛利和弘（亜細亜大学短期大学部図書館） ☎ 0422-54-3111
- 理事（紀要） 菅原春雄（文教大学女子短期大学部）
☎ 0467-53-2111
- 理事（紀要） 平塚悦子（跡見学園短期大学図書館）
☎ 03-3943-1368
- 理事（研修） 平井紀子（文化女子大学短期大学部図書館） ☎ 03-3299-2391
- 理事（研修） 中村洋子（東京立正女子短期大学図書館）
☎ 03-3316-6854

〈平成5年度地区理事名簿〉

- 北海道地区 柴田浩一（北海道女子短期大学附属図書館） ☎ 011-386-8011
- 東北地区 富良謝 純（桜の聖母短期大学図書館）
☎ 0245-34-7137
- 関東甲信越地区 毛利和弘（亜細亜大学短期大学部図書館） ☎ 0422-54-3111
- 東海・北陸地区 荻原啓作（愛知女子短期大学附属図書

館） ☎ 05617-3-4111

- 近畿地区 両角英郎（羽衣学園短期大学図書館）
☎ 0722-65-7000
- 中国・四国地区 竹島幸一（聖カタリナ女子短期大学附属図書館） ☎ 0899-93-0702
- 九州地区 西丸妙子（福岡女子短期大学図書館）
☎ 092-922-4034

平成6年度会費の値上げについて（予告）

平成5年度総会において、平成6年度からの会費値上げの方針が了承されました。これを受けて本部役員会では、平成6年度より現行1万円の会費を1万5千円にする値上げ案を了承し、直ちに全加盟館に対し、「平成6年度会費の値上げ予告について」という文書を発送いたしました。正式には平成6年5月末の総会で決定することになりますが、各短大における平成6年度予算編成時に、会費値上げ分の予算をあらかじめ計上して頂くための措置なのです。

現行会費1万円の反対給付としては、地区交付金・地区助成金が1館当たり約5,000円、無料配布の「短大図書館研究」が5,900円、会報が約1,000円として、会費分を上回っている状況です。各短大でも財政状況逼迫の折柄、甚だ恐縮ですが、諸事情ご賢察の上、よろしくご協力下さるようお願いいたします。

平成5年度全国研修会のご案内

本協議会主催の平成5年度短期大学図書館全国研修会を下記により開催いたします。本部役員会では鋭意その準備を進めておりますが、9月中旬には各館にご案内文書を発送する予定です。多数参加されるよう希望いたします。

記

日 時：平成5年11月18日（内）～19日（外）

会 場：全水道会館（中央線・水道橋駅下車5分）

テーマ：「参考業務と書誌」（美術と法律）

講 師：波多野宏之氏（国立西洋美術館）

種市正晴氏（武蔵野美術大学美術資料図書館）

小黒庸光氏（ " " ）

大越鉄雄氏（中央大学図書館）

地区特別助成（出版助成）について

本協議会は一般会計予算において、各地区の出版活動に対し特別助成を行うための予算を計上しています。平

成4年度は4地区に対し援助を行いました。本年度も28万円を計上しています。下記により各地区からの申請を受けけますので、早めに申請をして下さい。本部役員会にて決定させていただきます。

記

1. 書式 B5サイズ(横書き)
2. 記入事項 ①件名 ②目的 ③配布対象・数量
④見積書又はこれに準ずる資料 ⑤発行時期 ⑥その他審査に必要と思われる資料
3. 送付先 〒228 相模原市文京2-1-1
☎ 0427-42-1411(内線281)
相模女子大学短期大学部図書館
(庶務担当理事)吉岡馨彦

原稿募集 —「短期大学図書館研究」第14号—

「短期大学図書館研究」第14号の原稿を募集しています。図書館に関する研究論文、日常業務に関する調査報告、書誌、文献目録、索引等会員の皆様のご投稿を歓迎しています。

原稿枚数：指定原稿用紙(22字×15行)30枚前後

原稿締切：平成6年1月末日

送付宛先：〒112 東京都文京区大塚1-5-2

跡見学園短期大学図書館 平塚悦子宛

☎ 03-3943-1368 FAX 03-3943-1368

なお、詳しい原稿募集要項、執筆要項は、同誌第13号の巻末をご参照下さい。

本協議会出版物の残部販売について

本協議会では各種出版物の刊行をしてきましたが、その在庫状況は次のようになっています。購入ご希望の方は、相模女子大学短期大学部図書館(吉岡)までご連絡下さい。公費による購入も可能です。

誌名	巻号	発行年	頒価
・短期大学図書館研究	第1号	1980年	在庫なし
〃	第2号	1981年	2,300円
〃	第3号	1982年	2,800円
〃	第4号	1983年	3,000円
〃	第5号	1984年	在庫なし
〃	第6号	1985年	在庫なし
〃	第7号	1987年	3,800円
〃	第8号	1988年	3,800円
〃	第9号	1989年	4,000円
〃	第10号	1990年	4,000円
〃	第11号	1991年	4,000円
〃	第12号	1992年	5,900円
〃	第13号	1993年	5,900円

(註)第12号以後は紀伊国屋書店で販売しています。

- ・言語学・英語学関係基本文献目録 1987年 2,000円
(東洋英和女学院短大図書館編)240p
- ・私立短期大学図書館総覧 700p 1979年 3,500円
- ・私立短期大学図書館総覧 66p 1980年 2,500円
—集計・分析—
- ・図書館員になるには—資格と就職のガイド—
(菅原春雄著) 194p 1984年 絶版品切

平成5年度全国図書館大会に参加を!!

既にご承知のとおり、本年度の全国図書館大会は9月29日(水)から10月1日(金)まで札幌市において開催されます。

短大・高専図書館の分科会は第4分科会として、2日目の9月30日(木)に、「視聴覚資料と著作権」というテーマの下に開催されます。本協議会からも安部会長の他に本部役員が数名参加する予定です。

当日は本協議会加盟の札幌大谷短大図書館(三島啓子氏)、東京文化短大図書館(川井依玖子氏)、実践女子短大図書館(谷合美千子氏)がそれぞれ事例発表を行うことになっています。全員の皆さんも出来るだけ参加されて、交流の場を広げようではありませんか。

◀編集後記▶

会報第33号をお届けします。再選出された安部会長の下に本協議会も新年度のスタートをしました。前任者の川井さんに替り、中継ぎ役を仰せつかりましたが、本格派登場まで何とか持ちこたえたいと思います。なお、サポート役として相模女子大学短大部の澤藤さんに幹事をお願いすることになりました。よろしくご声援の程をお願いします。今号は総会・各地区活動の記事が中心となりました。(吉岡)